

村山総合支庁ニュース

-MuraSou News-

第209号 令和4年12月号 山形県村山総合支庁
発行元：総務企画部総務課総務係 TEL:023-621-8105

貫見（めくみ）バイパスが全線開通しました！



平成24年度から事業を行ってきた主要地方道大江西川線「貫見バイパス（大江町貫見～沢口間）」が、11月19日（土）に全線開通しました。

当日、午後1時30分から開通式典実行委員会主催の交通安全祈願祭と開通式が行われました。開通式では、おおえ舟唄太鼓の会による太鼓が披露された後、平山副知事、松田大江町長ほか、関係者によるテープカットと渡り初めが行われ、全線開通を祝いました。

今までの道路は、道路幅員が5.5mと狭く、すれ違いが困難で、急峻な地形

のため落石や雪崩の危険性が高く、安全な通行に支障がありました。新しい道路は、道路幅員が8.5mと広く快適な道路になりました。

ぜひ、貫見バイパスを通して、柳川温泉などへお越しください。



（西村山道路計画課 TEL：0237-86-8126）



「村山地域議員協議会」が開催されました

11月18日（金）に地域議員協議会が開催され、東南村山地域議員協議会には11委員が、西村山・北村山地域議員協議会には6委員が出席しました。審議に先立ち、斎藤村山総合支庁長から、管内における新型コロナウイルス感染症及び地域経済の状況や施策の取組状況などについて説明しました。

各委員からは、村山地域の行政課題や施策展開等について活発な質疑応答が行われました。

主な審議内容は次のとおりです。

【東南村山地域議員協議会】

- ・山寺地区の無電柱化について
- ・観光業の現状、観光需要喚起策等について
- ・鳥獣被害対策について
- ・新型コロナウイルス感染症への対応について
- ・道路の除雪体制について

【西村山・北村山地域議員協議会】

- ・山形空港の二次交通について
- ・西村山地域における医療提供体制の再編について
- ・子実用とうもろこしの栽培実証について
- ・寒河江スケートパークの活用について



東南村山地域議員協議会



西村山・北村山地域議員協議会

いただいた御意見や御提言を踏まえ、本庁や市町と連携し、村山地域の活性化に向け、しっかりと取り組んでまいります。

（総務課 TEL：023-621-8107）

シリーズ「子どもの居場所ニュース」 Vol.5 NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク/さくらんぼ食堂

地域のセーフティーネットとして、持続可能な「子ども食堂」を！

今回は、寒河江市において地域活性化のために精力的に活動している「やまがた絆の架け橋ネットワーク」に伺いました。この団体は、2012年に東日本大震災の被災者支援及び支援者の育成等を目的に設立され、その後、徐々に支援対象・内容が広がり、平成28年にNPO法人化されました。代表理事の早坂信一さんに、子どもの居場所「さくらんぼ食堂」についてお聞きしました。

食堂には、リピーターだけでなく、毎回新規利用の親子が参加しているということで、その秘訣を聞いてみました。①地域の皆さんのセーフティーネットとして優しい「食堂・フードパントリー」であり続けること、②利用したい親や子どもが気軽に訪れやすいように、寒河江市内すべての児童・生徒にPRチラシを配っていること、③行政と連携しながら感染防止対策を万全に整えた環境で、「対面」にこだわり活動していること、④ボランティアスタッフの負担を考慮し、決して無理せず活動すること。このように、「本当に困っている方に確実に手が届くように工夫することが、持続的に活動するポイント」と力強く話してくださいました。

と力強く話してくださいました。

活動を通して「子どもたちの食べる量が増えた」という親からのうれしい感想が届いているそうです。「食事が提



供されるまでの待ち時間で自然と親子の会話が増え、親が子どもだけを見つめることで子どもが認められ・褒められる時間が増えているのではないかと。そのため、楽しい空間での食事時間となり子どもの食欲が増しているのではないかと。本来あるべき親子の姿としての時間を過ごすことがいかに大切かを考えさせられる」と早坂代表は実感しているようです。

また、「活動に興味のある方は是非連絡をいただき、一緒に活動をしてみませんか。子どもたちの生活を応援するために村山地区各地において定期的にフードパントリーも行っているの、是非、ご協力をいただきたい。」と話しています。

村山総合支庁は、これからも子どもたちの笑顔のために活動する皆さんを応援していきます。

(子ども家庭支援課 TEL: 023-621-8178)



☆ さくらんぼ食堂 ☆

●開催情報(要事前申込)

開催日: 毎月第3木曜日 18:30~

場所: 寒河江市ハートフルセンター 料金: 無料

●問合せ先

電話: 0237-85-1070 検索: 「絆の架け橋」

ホームページ: <http://kakehasi.jp.org>

オンライン多胎児家庭交流会を開催しました！

双子や三つ子の妊娠・出産・育児は、親一人で双子の子どもを連れての外出がままならないため、孤立しがちで、「同時に泣く赤ちゃんへの対応」「授乳やオムツ交換が頻回で、ママ・パパがほとんど休めない」等多胎児ならではの悩みがつきものです。

そこで、子ども家庭支援課では、多胎児を妊娠中の妊婦さんや育児中のご家族を対象に、10月22日(土)にオンライン多胎児交流会を開催しました。当日は、5組のご家族が参加してくださいました。

交流会では、「妊娠中に準備しておいたほうがいいもの」について、「妊婦健診受診の際に、いつ入院となってもいいよう、入院セットを持参していた」「哺乳瓶や汚れた服をすぐに洗う時間がないので、哺乳瓶や着替えはあればあるほどよ

い」等のアドバイスがありました。また、「双子の寝かしつけ」については、「ママがあおむけに寝て、子ども達を両脇に腕枕し、ひたすら寝付くのを待つ」等の話が出て、盛り上がりました。

また、村山地域では、「ふたりっこくらぶ(山形市)」と「さくらんぼ(東根市)」など、多胎児サークルが定期的に交流会を開催しています。ご希望の方は子ども家庭支援課までお問い合わせください。

(子ども家庭支援課 TEL: 023-627-1203)



村山地域における再造林の取組みについて

県では、森林を健全な姿で次の世代につないでいくため、「伐ったら植える」を合言葉に再造林を推進しています。再造林は、水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止などの森林の有する公益的機能の持続的な発揮と森林資源の循環利用に不可欠な取組みであり、「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けて大きな役割を果たすものです。

村山総合支庁では、再造林の取組みを加速させるため、村山版マニュアル「村山地域における皆伐・再造林推進の手引き」と「植栽から伐採までに係る収支計算書」を作成し、関係団体等と協力をしながら再造林の取組みを進めています。



この度、村山地域で積極的に再造林に取り組んでいる山形地方森林組合が「やまがたサンデー5」に紹介されました。取材の中で業務課長の半田さんは再造林による森林の若返りの必要性とコンテナ苗を活用した作業の省力化や低コスト化について説明し、リポーターが実際にコンテナ苗による植栽を体験しました。「やまがたサンデー5」YouTube公式チャンネルで視聴できますのでぜひご覧ください！



(森林整備課森づくり推進室
TEL: 023-621-8151)

「やまがたサンデー5」
紹介ページはこちら!

おいしく残さず食べきりで食品ロス削減! ~30・10(さんまる・いちまる)運動~

まだ食べられるのに捨てられてしまっている食品が年間522万トンも発生しています。特に、宴会では多くの食べ残しが発生しており、提供された料理7皿あたり、1皿分が捨てられているというデータがあります。

これから年末年始に向け、職場や知人との忘年会や新年会が予定されていると思います。幹事さんは「30・10運動」(開始後30分、お開き前10分は席を立たずに料理を楽しんで食べきる運動)を積極的に呼びかけて、おいしく残さず食べきって食品ロスを減らしましょう。

食べきれない場合は、お店の方に確認して、自宅に持ち帰りましょう。県では食品ロス削減に取り組む飲食店や宿泊施設等を「もったいない山形協力店」としてホームページで紹介しています。300店以上

上のお店を登録していますので、お店選びの参考にしてください。

一人ひとりが「もったいない」を心がけ、コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、楽しく、おいしく宴会を楽しみましょう。

(環境課 TEL: 023-621-8422)



もったいない山形協力店
一覧はこちらから



おいしいごはんポスターコンクール表彰式を行いました

農業への理解と米の消費拡大を目的に実施した「村山地域おいしいごはんポスターコンクール」の表彰式が11月11日に村山総合支庁講堂で行われました。

今年で32回目となるコンクールには、管内の小学校78校から過去最多となる1669点の応募をいただきました。なお、受賞作品は、県のホームページからご覧になれます。

(農業振興課
TEL: 023-621-8385)



最優秀賞
天童市立高揃小学校4年
松木このみさん

元気はつらつ！お達者交通安全教室

交通安全指導員による創作劇で交通事故防止を呼びかけ～早めのライト点灯・反射材の着用を～

村山地区交通安全対策協議会（事務局：村山総合支庁）では、「高齢者の交通事故防止推進強化旬間」（11月1日（火）～11月10日（木））期間中の啓発活動の一環として、高齢者が集う交流センターや老人クラブ等を訪問し、「元気はつらつ！お達者交通安全教室」を開催しました。

この交通安全教室では、警察官による講話とともに、交通安全指導員による方言を交えた楽しい掛け合いや、横断歩道の渡り方などを実演する創作劇を通して、高齢者の交通事故防止を呼びかけました。

日没がさらに早まるこれからの時期は、夕暮れ時の事故が増える傾向にありますので、運転手は早めのライト点灯を、歩行者は反射材の着用を心がけましょう。

（総務課防災安全室 TEL：023-621-8234）



農福連携「現地視察研修会」開催



農福連携プロジェクトチーム村山地域部会では、農福連携の普及啓発を図り、農業関係者と福祉関係者のお互いの理解促進と委託可能な作業の掘り起こしのきっかけづくりのため、10月27日（木）に農業者や障がい福祉関係事業所・特別支援学校等関係者を対象に「現地視察研修会」を行いました。

初めに山形市内の（株）開沼清十郎様にご協力いただき、伝統野菜の悪戸いも（里芋）畑で障がい福祉サービス事業所「夢工房」の利用者さんによる収穫作業を視察しました。その後の研修会では、参加者が小グループによる交流を行い、内容を全体で共有、農福連携実践者等からアドバイスをいただきました。参加者からは、「具体的な作業する姿を確認でき非常に参考になった」、「様々な立場からの意見を聞いて有意義だった」等の声が聞かれ、農業・福祉お互いの連携と更なる理解促進へ向けた期待が感じられるものとなりました。

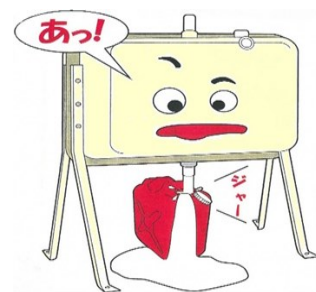
（地域健康福祉課 TEL：023-627-1145）

油断大敵！

～油流出事故にご注意を！！～

暖房を使用する冬の季節になると、油流出事故が増加します。原因は「うっかりミス」によるものがほとんどです。流出した油は、河川や土壤などの環境を汚染し、生態系破壊を引き起こします。また、油流出事故対応のためにかかった費用は、基本的に原因者が負担しなければなりません。

事故発生時や発見時は最寄りの消防署、市町または環境課にご連絡ください。
（環境課 TEL：023-621-8419）



『油流出事故をおこさないために』

▽ホームタンクや配管を保護したり、配管の場所に目印を設置するなど、**落雪や除雪作業で破損しないよう備えましょう**

▽灯油をホームタンクからポリタンクに小分けする際には、**絶対にその場から離れないように**しましょう。やむを得ず離れる必要がある場合は、**元栓を完全に閉めてから離れるように**しましょう

12月納税推進強調月間

12月は県下統一の「納税推進強調月間」です。

村山総合支庁と管内市町では自主納税・納期内納付の推進のため、県税・市(町)税の口座振替を推奨しています。一度手続きを行えば、毎回振替されるので、金融機関等に出向く必要も、納付を忘れることもありません。

また、県では、コンビニやドラッグストアの窓口納付に加え、キャッシュレス決済を導入し、利便性の向上にも努めています。

県税・市(町)税が納期限まで納付されない場合は、財産を差し押さえることがあります。納付が難しい事情があれば納税相談を受け付けますのでお早めに、納税課・市町村担当課までお問合せください。
(納税課 TEL:023-621-8135)

県内一斉
納税推進強調月間

山形県・市町村

◆お願い◆道路除雪にご協力ください!!

事故なくスムーズに除雪できるよう、皆様のご協力をお願いします。

○除雪車には近づかないで!

除雪車の周辺は、運転手の死角があり危険です。

除雪車には絶対に近づかないでください。

○道路に雪を捨てないで!

道幅が狭くなり、歩行者との接触事故やスリップ事故の原因になりますので、敷地の雪は道路に出さないでください。

○寄せ雪処理にご協力を!

除雪後には宅地入口に多少の雪が残ってしまいます。

各ご家庭やご近所で協力し合い、寄せ雪の処理をお願いします。

○流雪溝のルールを守りましょう!

流雪溝に雪を入れるときは、地区で決められたルールを守りましょう。

作業後は必ずしっかりとフタを閉めましょう。

(道路課 TEL:023-621-8193、西村山道路計画課 TEL:0237-86-8404、
北村山道路計画課 TEL:0237-47-8667)



インボイス制度説明会について

県では、インボイス制度の仕組みや概要について、県内各税務署の協力により、インボイス制度説明会を開催します。税務署職員が講師となり、消費税の基本的な仕組みからインボイス制度の概要までを説明します。

参加を希望される場合は、事前申込制となっておりますので、地域産業経済課産業振興担当までお問合せください。

(地域産業経済課 TEL:023-621-8443)

主催:山形県
総合支庁・地域振興局7庁舎で開催

消費税

インボイス制度説明会

税務署職員が講師となり、消費税の基本的な仕組みからインボイス制度の概要までご説明します。
是非ご参加ください。

参加費
無料

日時・会場

庁舎ごとの開催となりますので、詳しくは裏面をご覧ください。

申込方法

前日(月曜日開催の場合は前週の金曜日)15時までに裏面の申込先にお申し込みください。

対象者

事業主、法人、団体等
※インボイス発行事業者の登録をすべし
か検討されている方にもお勧めいたします。

【説明会会場及び日時】

●村山総合支庁講堂

12月8日(木) 10:00~11:30

●北村山地域振興局講堂

12月15日(木) 10:00~11:30

●西村山地域振興局衛生教育室

12月20日(火) 10:00~11:30



山形県 インボイス制度

検索

ノロウイルスによる食中毒に注意！ 雪害事故の防止について

ノロウイルスによる食中毒は年間通して発生しますが、特に冬に多く発生します。家庭においてノロウイルス食中毒を予防するためには、食品の中心部までしっかり加熱（85℃、90秒以上）すること、適切な「手洗い」が重要です。

積雪量が多くなる冬期間は、例年除雪や雪下ろし作業中の事故が多く発生しています。



屋根の雪下ろしを行う場合は、ヘルメットや命綱を装着し、2人以上で安全な作業に心がけましょう。また、除雪機による事故や屋根からの落雪にも、十分注意しましょう。

雪害事故防止については、県ホームページ「こちら防災やまがた！」の「防災情報」に《安全な雪下ろしガイド》などを掲載していますので、ぜひご利用ください。（総務課防災安全室

TEL：023-621-8108)

? O×クイズ !
 問1：手洗いのポイントはハンドソープをよく泡立てること、その後流水で十分にすすぐことである。
 問2：親指の周りや指の間は、普通に洗っても洗い残しはほとんどない。



手の甲

手のひら

答：1、○ 2、×
 図のように、親指の周りや指の間は、洗い残しが多い所です。意識して手洗いを行いましょう。

最も洗い残しをしやすい部分

やや洗い残しをしやすい部分

(生活衛生課 023-627-1185)

安全な雪下ろしのポイント

- ◆ヘルメット・命綱を装着
- ◆2人以上で作業
- ◆屋根の雪のゆるみに注意
- ◆はしごはしっかり固定
- ◆使いやすい除雪道具の使用
- ◆足場にはいつも注意
- ◆体調に気をつけ、無理な作業はしない

「こちら防災やまがた！」
 はこのQRコードから！



村山総合支庁公式

Twitter



はじめました!

@murayamasougo



村山地域の様々な情報
 をお届けします!!
 QRコード読み取り、または
 アカウント検索でぜひ
 フォローお願いします♪

